広告

企画協力 読売新聞社ビジネス局

環境に優しい! トラック・バスのヒミツ

お訪ねした会社

社名：いすゞ自動車株式会社 藤沢工場
住所：神奈川県藤沢市土棚
https://www.isuzu.co.jp/

トラックやバス、救急車などの働くクルマを作って販売する会社「いすゞ自動車」の工場だよ。日本で一番古くからある自動車会社で、1916年からクルマを作っているんだ。

ヒミツ❶ 金属の割合が多い

トラックやバスはたくさんの人や荷物を運ぶので、頑丈に作る必要がある。そのため、乗用車よりも鉄などの金属が多く用いられていて、逆にプラスチックなどの樹脂は少ないんだ。金属は樹脂よりもリサイクルしやすく、使い終わったトラックやバスからは資源を簡単に取り出せるよ。

ヒミツ❷ 一度作ると長く使える

トラックやバスはとても長い間使い続けることができるよ。普通の乗用車は10～15万キロメートル走行すると寿命を迎えるといわれているけれど、トラックやバスは100万キロメートル以上走れる場合が多いんだって。

ヒミツ❸ 持続可能な素材を使う

いすゞ自動車のトラックの荷台の床は竹で出来ているよ。竹は木よりも成長が速く、植えてから約5年で伐採して材料にできるんだ。そのため、木材の代わりに使うことで森林を守れる、サステナブルな資源として注目されているんだよ。

現地で学ぼう! クルマのリサイクル

vol.6 生産編

エコなクルマの作り方!

人を乗せて走る乗用車やバス、ものを運ぶトラック、命を救う救急車や消防車。私たちの身の回りで活躍しているクルマたちは、使い終わった後も社会の役に立っているって知ってた？実は、そのほとんどがリサイクルされているんだよ！この「クルマのリサイクル」シリーズ（全7回）では、クルマが大切に使われて資源に戻るまでの過程を紹介しているよ。

6回目は、トラックやバスを作っている「いすゞ自動車」の工場にやってきたよ。クルマは使い終わった後にほとんどが資源に戻るだけでなく、作るときから環境への負荷が少なくなるように考えられているんだ。しかも、トラックやバスならではの「リサイクルがしやすいポイント」もあるんだって。どんな工夫がされているのか、一緒に見に行こう！

自動車リサイクル博士

クルマを買うとき
リサイクル料金を払います

長く乗るために整備したり、
中古車として乗り継ぎます

使わなくなったクルマは
販売店などの事業者に
引き渡します

フロン類は熱処理して
無害化。エアバッグ類も安全に
分解します

使える部品を取り外して
リサイクル部品として使います

残った車体などは
シュレッダー機で破砕します
金属類は鉄、銅、アルミなどに
分別します

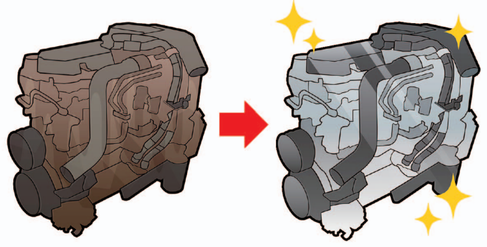
金属を原材料に戻して
リサイクルします
残ったプラスチックやゴム
なども原材料に戻したり
熱源として再利用します

今回紹介するのはココ!
リサイクルのしやすさを
意識したクルマを作ります

クルマのほとんどが
リサイクル

ポイント1 使ったパーツを「再利用」

トラックやバスは本体がとても丈夫である一方、エンジンなどのクルマを動かすための仕組みが先に故障してしまうことがあるんだ。そこで、いすゞ自動車が活用を推進しているのが「リビルト部品」！リビルト部品とは、使い終わったクルマから取り外した部品を分解してきれいに清掃し、消耗している部分だけ新品に交換したものだよ。クルマを修理するときにリビルト部品を使うと、一度使った部品を捨てずに済むからゴミの量が減らせるし、一から作ったものを使うよりも資源が節約できるんだ。しかも、新品より安いから使う人もお金の節約になるんだって。



地球にも使う人にもうれしい仕組みだね

ポイント2 ゴミは徹底的に「分別」

みんなの家では、ゴミを何種類に分けて捨てているかな？この工場では、ゴミをできるだけ効率的に再利用するために、なんと109種類に分別しているんだって。例えば、クルマを組み立てる場所では、部品の梱包材を素材と色ごとに分けて捨てているよ。また、工場で働く人たちが飲んだ後のペットボトルも、本体とフタ、ラベルに分けて別々のゴミ箱に入れる決まりになっているんだ。

こうして分別されたゴミはさまざまな方法で活用されていて、一部のプラスチックは工場内でモノを運ぶためのトレイに生まれ変わるよ。また、汚れていて再びプラスチックとして使うのが難しいものは燃料にして、燃やした後に出る燃えカスもコンクリートと混ぜて地面の舗装材にしているんだって。

ゴミは燃やしたり、破砕した後に埋め立てられることが多いけど、この藤沢工場ではこんな風に徹底的に再利用しているから、10年以上ゴミを埋め立てに出していないんだよ。

博士からの挑戦状!! クルマのリサイクルクイズ

「環境に優しい! トラック・バスのヒミツ」を見直してみよう!

いすゞ自動車のトラックの荷台の床は何で作られている？

（　　）（漢字で一文字）

次回はついに最終回! まとめ編だよ!

今回のまとめ

クルマを作る際には、リサイクルしやすい素材を使用したり、長期間使い続けられるように丈夫に作ったりして、できるだけ環境への負荷を減らすようにしているんだ。また、「一度使ったエンジン等を再利用する」「工場内で出たゴミをしっかり分別する」など、資源を大切に使うためのさまざまな取り組みが行われていたよ。

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
Japan Automobile Recycling Promotion Center / JARC

詳しくはこちらから
クルマのリサイクル 検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS